

○事業所名	リハリンクスおゆみ野		
○保護者評価実施期間	2025年1月1日 ～ 2025年12月31日		
○保護者評価有効回答数	22		22
○従業者評価実施期間	2025年1月1日 ～ 2025年12月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との日常的な情報共有・面談・相談対応が高く評価されている	毎日の活動後に写真付きの報告を実施し、保護者がこどもの様子をリアルタイムで把握できる仕組みを整えている。面談・連絡帳を通じた丁寧なコミュニケーションを徹底している	保護者との連携をさらに深め、定期的な個別面談の機会を計画的に設定するとともに、連絡方法の多様化（アプリ・SNS等）を検討する
2	個別支援計画の作成・実施が高く評価されており、専門性ある支援が行き届いている	アセスメントに基づく個別支援計画を丁寧に作成し、保護者への説明と同意取得を徹底している。職員間での計画の共有・振り返りを定期的実施している	支援計画の内容をよりわかりやすく保護者に説明できるよう、視覚的な資料の工夫や説明方法の改善に取り組む
3	保護者の支援満足度が高く、事業所への信頼関係が構築されている	職員全員が保護者の声に丁寧に向き合い、こどもの小さな変化や成長を積極的に伝える取組を継続している	利用開始間もない保護者への不安軽減支援をさらに充実させ、通所に慣れるまでの段階的なサポート体制を強化する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所・幼稚園等との交流・地域でのインクルーシブ活動の機会が不足している	地域の保育所・幼稚園等との連携体制が十分に整っておらず、こどもの障がいの状況や保護者の希望に応じた交流の機会を設けることが難しい状況にある	地域の保育所・幼稚園等との情報交換・連携の機会を意図的に設け、インクルーシブな活動プログラムを段階的に取り入れる。保護者への交流機会の案内・情報提供を強化する
2	家族支援プログラムの認知度・参加率が十分でない	事業所内での家族支援プログラムの開催頻度・案内方法が十分でなく、保護者が参加しやすい時間帯・形式の検討が必要。「わからない」が5名おり、プログラムの存在自体の周知も課題	年間スケジュールに家族支援プログラムを明確に位置づけ、開催案内を連絡帳・アプリ等で積極的に発信する。オンライン参加など参加しやすい形式も検討する
3	非常災害訓練・緊急時対応への保護者の認知度が低い	避難訓練や緊急時マニュアルの実施・内容について保護者への説明・周知が不十分。送迎の時間帯が短く、保護者への情報共有の機会が限られている	避難訓練の実施予定を事前に保護者へ通知し、訓練後の報告を行う。緊急時対応マニュアルを入所時説明資料に組み込み、年1回の確認機会を設ける

○事業所名	リハリンクスおゆみ野		
○保護者評価実施期間	2025年1月1日		～ 2025年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	2025年1月1日		～ 2025年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との日常的な情報共有・面談・個別フィードバックが高く評価されている	送迎時・連絡帳・LINEを通じて毎回その日の様子を丁寧に伝え、保護者が安心して子どもを預けられる関係づくりを徹底している。定期面談では保護者の悩みに寄り添い、具体的な助言を行っている	情報共有の方法をさらに多様化し(写真付き活動報告・動画等)、保護者が子どもの成長をより実感できる発信スタイルの充実を図る。面談記録の活用により継続的な支援に繋げる
2	子どもの通所意欲・支援満足度が高く、保護者からの信頼が厚い	子どもの特性やペースに合わせた個別対応を大切に、安心感のある環境づくりと職員との信頼関係の構築に注力している。利用開始時の丁寧な慣れ親しみ支援も実施している	新規利用者への慣れ親しみ支援をより体系化し、利用開始から安定通所までの段階的なサポートプロセスを整備する。満足度の高さを維持しながら支援の質をさらに向上させる
3	個別支援計画の質・活動プログラムの工夫が評価されている	児童発達支援管理責任者と支援員が連携してアセスメントを行い、子どもの強みと課題を踏まえた個別支援計画を作成している。活動プログラムは季節・テーマ・個々の興味に合わせて定期的に見直している	支援計画の内容を保護者により分かりやすく説明できるよう、図や写真を活用した資料を整備する。プログラム立案に子どもの意向を反映する仕組みをさらに充実させる

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブ・児童館等との交流や地域の他のこどもとの活動機会が不足している	放課後等デイサービスの特性上、利用時間帯が放課後に限られており、地域の他のこどもとの接点が少ない。地域の放課後児童クラブ等との連携体制が整っていない	地域の児童クラブや学校行事への参加機会を意図的に設け、インクルーシブな活動を年間計画に位置づける。保護者への地域活動参加の情報提供を強化し、事業所外での活動を促進する
2	バリアフリー設備の整備・周知が不十分で、保護者の認知度が低い	事業所の設備状況について保護者への説明・見学案内が不十分であり、スロープ・手すり等の設備があっても保護者に伝わっていない可能性がある。設備整備自体も改善の余地がある	入所時オリエンテーションで設備状況を具体的に説明し、施設見学の機会を設ける。バリアフリー整備の現状と今後の改善計画を保護者向けに発信する。必要に応じた設備改善を検討する
3	SNS・HP等を通じた情報発信と緊急時マニュアルの保護者への周知が不十分	活動の様子や緊急時対応の取組みについて、SNS・HP等での発信頻度や内容が保護者のニーズに追いついていない。緊急時マニュアルの内容説明が入所時にとどまり、定期的な確認の機会が設けられていない	LINEや専用アプリを活用した活動報告・情報発信を定期化し、保護者が日常的に事業所の取組みを把握できる環境を整える。緊急時マニュアルは年1回の確認と保護者向け配布を実施する

○事業所名	リハリンクスおゆみ野		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 1日		～ 2025年 12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年 1月 1日		～ 2025年 12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	2025年 1月 1日		～ 2025年 12月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)		(回答数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援員が質問に適時・適切に回答しており、訪問先施設からの信頼が高い (訪問先施設評価Q3:「はい」6名 全員)	訪問後に記録・報告書を丁寧に作成し、訪問先施設との情報共有を徹底している	定期的な事例検討会を実施し、支援の質の継続的な維持・向上を図る
2	保護者との信頼関係が構築されており、共感的・継続的な支援が高く評価されている (保護者評価Q17・Q15・Q27: 全員「はい」)	定期面談・連絡帳・個別支援計画の共有を通じ、保護者との密なコミュニケーションを実施している	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の実施体制を整備し、保護者支援をさらに強化する
3	こどもの専門性に応じた個別支援計画の作成と、個人情報への適切な配慮が評価されている (保護者評価Q6・Q7・Q24: 全員または9名以上「はい」)	訪問先施設・保護者・事業所の三者が情報を共有できる仕組みを意識した支援計画を作成している	訪問支援員のスキルアップ研修を継続的に実施し、専門性のさらなる向上を図る

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先施設への積極的な助言・情報提供が不足しており、施設側が主体的に報告する形になっている (訪問先施設コメント:「こちらが報告することが多かった。助言や説明があればお願いしたい」)	訪問時間が限られており、双方向的な意見交換や助言を行う余裕が十分でない	訪問前に情報共有シートを活用し、事前に助言事項を整理した上で訪問することで、双方向的な連携を強化する
2	訪問支援に使用する教具・教材の整備が不十分で、保護者への周知も不足している (保護者評価Q1:「はい」3名、「わからない」7名)	事業所開設間もないため、教具・教材の選定・調達・整備が追いついていない	計画的な教具教材の調達を進めるとともに、保護者向けに教材の活用内容を説明する機会を設ける
3	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の実施が十分でない (保護者評価Q14:「はい」4名、「どちらともいえない」 「いいえ」各2名、「わからない」2名)	事業所開設間もなく、研修会・情報提供等のプログラムを実施する体制・スケジュールが整っていない	年間計画に研修会・保護者向け情報提供の機会を位置づけ、継続的な家族支援の充実を図る